



2026年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年10月15日

上場会社名 株式会社GRCS 上場取引所 東
コード番号 9250 URL <https://www.grcs.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐々木 慈和
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 田中 郁恵 TEL 03 (6272) 9191
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年11月期第3四半期の連結業績（2025年12月1日～2026年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年11月期第3四半期	2,663	8.0	△35	—	△53	—	△55	—
2025年11月期第3四半期	2,465	1.6	△86	—	△110	—	△85	—

(注) 包括利益 2026年11月期第3四半期 △55百万円 (—%) 2025年11月期第3四半期 △85百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年11月期第3四半期	△37.80	—
2025年11月期第3四半期	△63.57	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年11月期第3四半期	1,564	5	△1.8
2025年11月期	1,713	△95	△7.9

(参考) 自己資本 2026年11月期第3四半期 △27百万円 2025年11月期 △136百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年11月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年11月期	—	0.00	—	—	—
2026年11月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年11月期の連結業績予想（2025年12月1日～2026年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,569	7.1	△130	—	△157	—	△512	—	△350.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有
連結業績予想の修正については、本日（2026年10月15日）公表いたしました「特別損失の計上（見込み）及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 (社名) 株式会社GRCSテクノロジーズ、除外 1社 (社名) 株式会社バリュレイト

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計上の見積りの変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年11月期3Q	1,526,530株	2025年11月期	1,380,130株
2026年11月期3Q	29,803株	2025年11月期	29,803株
2026年11月期3Q	1,462,616株	2025年11月期3Q	1,350,327株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は、TDnetで同日開示し、当社ウェブサイトに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 継続企業の前提に関する重要な事象等	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(会計上の見積りの変更に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により緩やかな回復が期待されておりますが、中東情勢や自然災害の影響、金融資本市場の変動等の影響に引き続き注意が必要となっております。

当社グループが属する事業環境においては、サイバーセキュリティ対策、生成AI活用に伴うセキュリティリスクへの対応が進む等、GRC及びセキュリティ領域への対応に関心が高まる状況となりました。

このような環境の中、当社グループは、持続的な企業成長を支えていくため「進化に、加速を。」をミッション、「世の中を、テクノロジーでシンプルに。」をビジョンに掲げ、複雑に変化し続ける世の中で直面する多種多様なリスクへ敏感に迅速に対処するために常に新しいことに挑戦し、進化し続け社会的価値の向上に取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間においては、経営の目が行き届く範囲を絞り体制を立て直すために、これまでの3事業をコア領域のGRCセキュリティ事業と、成長を担うフィナンシャルテクノロジー事業の2事業体制へ原点回帰し、事業戦略を定め売上高拡大に向けて注力いたしました。

GRCセキュリティ事業においては、既存顧客による案件拡大を実現したことに加え、自社プロダクトの開発支援やカスタマイズの追加により売上高が増加いたしました。また、企業の安全なAI活用を包括的に支える「全社的AIセキュリティ/AIガバナンス体制構築支援サービス」の提供を開始しました。フィナンシャルテクノロジー事業においては、大型プロジェクトや収益性の高いライセンス販売の受注が計画通り進まず、売上高は当初予想を下回る水準となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高2,663,827千円（前年同期比8.0%増）、売上総利益714,927千円（同0.4%増）、営業損失35,144千円（前年同期は営業損失86,849千円）、経常損失53,910千円（前年同期は経常損失110,538千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失55,280千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失85,840千円）となりました。

なお、当社グループはGRCソリューション事業の単一セグメントであり、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ148,902千円減少し1,564,867千円となりました。

フィナンシャルテクノロジー事業におけるサーバー等の買掛金、リース債務及び事業構造改善引当金の支払い、賞与の支払い、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）の返済により現金及び預金が222,712千円減少いたしました。AI搭載ERM統合プラットフォームの開発等によりソフトウェア仮勘定が63,535千円増加いたしました。

これらが主な要因となり、資産合計が減少いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ250,649千円減少し1,559,057千円となりました。

売上高増加に伴うプロダクトのライセンス料等の契約負債が58,547千円増加いたしました。また、賞与等の支払いにより未払費用が85,180千円減少、フィナンシャルテクノロジー事業におけるサーバー等の支払いによりリース債務が80,223千円、事業構造改善引当金が10,286千円減少、金融機関への約定返済により長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が125,745千円減少いたしました。

これらが主な要因となり、負債合計が減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ101,747千円増加し5,809千円となりました。

これは主に新株予約権の行使及び第三者割当による増資により資本金、資本準備金がそれぞれ81,767千円増加、吸収合併によりその他資本剰余金が13,586千円増加、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が68,867千円減少したことによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は△1.8%（前連結会計年度末△7.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年11月期の連結業績予想については、2026年1月19日に「2025年11月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました連結業績予想を修正しております。詳細については、本日（2026年10月15日）公表いたしました「特別損失の計上（見込み）及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

(4) 継続企業の前提に関する重要な事象等

当社グループは、前連結会計年度において、フィナンシャルテクノロジー事業の事業用資産に係るサーバー等のハードウェアについて、今後、事業の用に供する予定がなくなったことから、個々の資産を遊休資産とし、245,318千円を減損損失として特別損失に計上いたしました。また、フィナンシャルテクノロジー事業が提供するホスティングサービスに利用する予定であったソフトウェアのライセンス費用等について、当該サービスの大型プロジェクトが中断したことに伴い、将来的な使用見込みがなくなり、加えて、当該ライセンスに係る契約が原則として中途解約不能であることから、契約の残存期間に支出が見込まれる費用として事業構造改善引当金繰入額を108,416千円計上しており、親会社株主に帰属する当期純損失は527,903千円となりました。

その結果、前連結会計年度末における純資産は△95,937千円の債務超過となりましたが、株式会社Fixstars Investmentを割当予定先とする第三者割当増資96,715千円の払込手続きが2026年2月2日に完了、加えて新株予約権の行使により57,062千円の払い込みがあり、当第3四半期連結会計期間末において債務超過は解消されております。

「特別損失の計上（見込み）及び業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、当第4四半期会計期間において、営業損失を計上する見込みとなりますが、財務基盤を安定化させるために、資本増強に向けた施策を引き続き検討しており、当面の資金繰りに懸念はありません。

以上の状況により、継続企業の前提に重要な不確実性は認められないと判断しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	530,760	308,048
売掛金及び契約資産	426,018	482,957
仕掛品	6,113	3,217
前払費用	105,591	138,955
その他	1,395	4,719
流動資産合計	1,069,878	937,898
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	47,095	51,022
工具、器具及び備品（純額）	8,944	18,680
有形固定資産合計	56,040	69,702
無形固定資産		
ソフトウェア	106,711	89,084
ソフトウェア仮勘定	—	63,535
のれん	391,041	320,273
顧客関連資産	11,083	10,033
無形固定資産合計	508,836	482,927
投資その他の資産		
長期前払費用	969	1,557
破産更生債権等	—	220
繰延税金資産	36,958	30,359
差入保証金	39,336	40,671
その他	1,750	1,750
貸倒引当金	—	△220
投資その他の資産合計	79,014	74,338
固定資産合計	643,891	626,969
資産合計	1,713,769	1,564,867

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	114,381	114,575
1年内償還予定の社債	48,000	48,000
1年内返済予定の長期借入金	210,100	188,155
リース債務	90,644	62,179
未払金	—	100,000
未払費用	229,672	144,491
未払法人税等	452	13,324
未払消費税等	44,088	22,056
契約負債	167,481	226,028
預り金	22,975	10,846
賞与引当金	—	41,737
流動負債合計	927,795	971,394
固定負債		
社債	128,000	90,000
長期借入金	347,793	243,993
リース債務	179,555	127,798
資産除去債務	18,146	27,741
長期未払金	100,000	—
事業構造改善引当金	108,416	98,130
固定負債合計	881,911	587,663
負債合計	1,809,707	1,559,057
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	131,767
資本剰余金	627,864	723,218
利益剰余金	△714,306	△783,173
自己株式	△99,718	△99,718
株主資本合計	△136,159	△27,905
新株予約権	40,222	33,715
純資産合計	△95,937	5,809
負債純資産合計	1,713,769	1,564,867

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年12月1日 至 2026年8月31日)
売上高	2,465,926	2,663,827
売上原価	1,753,995	1,948,899
売上総利益	711,930	714,927
販売費及び一般管理費	798,779	750,071
営業損失(△)	△86,849	△35,144
営業外収益		
受取利息	637	1,058
受取手数料	433	181
その他	159	205
営業外収益合計	1,230	1,445
営業外費用		
支払利息	8,656	11,220
社債発行費	4,471	—
外国源泉税	7,361	2,254
為替差損	3,568	5,764
その他	861	972
営業外費用合計	24,919	20,212
経常損失(△)	△110,538	△53,910
特別利益		
新株予約権戻入益	—	2,184
事業構造改善引当金戻入額	—	3,874
特別利益合計	—	6,058
税金等調整前四半期純損失(△)	△110,538	△47,852
法人税、住民税及び事業税	2,071	828
法人税等調整額	△26,769	6,599
法人税等合計	△24,698	7,427
四半期純損失(△)	△85,840	△55,280
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△85,840	△55,280

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年12月1日 至 2026年8月31日)
四半期純損失(△)	△85,840	△55,280
四半期包括利益	△85,840	△55,280
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△85,840	△55,280
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更に関する注記)

(資産除去債務の見積りの変更)

当第2四半期連結会計期間において、不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務として計上していた資産除去債務について、原状回復費用の新たな情報入手に基づき見積りの変更を行いました。

この見積りの変更による増加額9,432千円を変更前の資産除去債務残高に加算しております。

なお、当該見積りの変更により、当第3四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失は871千円増加しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2026年2月2日付で、株式会社Fixstars Investmentから第三者割当増資の払込みを受け、当第3四半期連結累計期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ48,357千円増加しております。

また、新株予約権の行使により資本金及び資本準備金がそれぞれ33,409千円増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が131,767千円、資本準備金が395,225千円となっております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年12月1日 至 2026年8月31日)
減価償却費	13,514千円	31,143千円
のれんの償却額	125,529千円	70,767千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、GRCソリューション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。